

新学習指導要領対応 小学校外国語活動年間指導計画例 (CHALLENGE リスト形式含む)・外国語年間指導計画例 (CAN-DO リスト形式含む) 及び中学校英語科 CAN-DO リスト形式による学習到達目標例の取扱いについて

山梨県教育委員会

以下の注意事項を確認の上、新学習指導要領対応 小学校外国語活動年間指導計画例 (CHALLENGE リスト形式含む)・外国語年間指導計画例 (CAN-DO リスト形式含む) 及び中学校英語科 CAN-DO リスト形式による学習到達目標例を活用してください。

### 【注意事項】

#### ○小学校

#### CAN-DO リスト形式による学習到達目標について

- ・ CAN-DO リスト形式による学習到達目標は、各学校が児童の実態等に応じて、五つの領域別の学年ごとの到達目標を適切に定める必要があるが、山梨県として参考例を示すこととした。
- ・ 学習到達目標 (CAN-DO リスト形式) を作成することで、
  - ①各領域の目標をどの単元で学習するかが分かる。
  - ②各学年で、どこまで目指したらよいか分かる。
  - ③2学年分の系統性や、スパイラル形式の学習を見通すことができる。
- ・ 小学校第5, 6学年については、英語を使って何ができるようになるかという視点から、学習到達目標を「～することができる」という形で示している。
- ・ 小学校第3, 4学年については、英語を使って挑戦してほしいことを CHALLENGE リストとして、「～するようにする」と形で示している。

#### 年間指導計画例について

- ・ 県内で令和2年度に採択される教科書の年間指導計画例と CAN-DO リスト形式による学習到達目標を関連付けて作成をしている。
- ・ 文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センターより発行されている学習評価の在り方、
  - ①児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
  - ②教師の指導改善につながるものにしていくこと
  - ③これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくことを基本とし、単元のまとまりの中で適切に評価を実施できるように、各単元における指導の中心領域を示すようにした。

- ・小・中学校における外国語教育の連携、接続のために、各校種間で学習到達目標の内容を理解しておくことが重要である。年間指導計画例は、ピーチウェア上でダウンロードし、各校種間で内容を確認することが可能である。

○中学校

- ・新学習指導要領に対応し、五つの領域別に CAN-DO リスト形式による学習到達目標を設定している。
- ・中学校 1 年生のみ、前期、後期の達成時期を設けた。小学校の到達目標になるであろう学習到達目標を能力記述文として置き、小学校の到達状況を把握した上で、中学校の学びをスタートするよう配慮してある。